

事務事業評価資料

施策名	新ひょうごの森づくりの推進		所管部局課名	農政環境部農林水産局林務課						
事業名	森林整備地域活動支援交付金		担当者電話番号	計画係 内線4107						
事業目的	森林所有者等による、森林の施業に不可欠な「施業実施区域の明確化作業」等の地域活動を確保するための支援を行い、森林の有する多面的機能の発揮を図る。									
事業内容	市町長と森林所有者等との間で締結する協定に基づき行う、施業の実施に必要な「施業実施区域の明確化作業」などの活動のための、森林整備地域活動支援交付金を交付する。 交付対象者 市町長との協定に基づき地域活動を行う者 交付単価 定額（5千円/ha） 負担割合 国1/2、県1/4、市町1/4			事業開始年度	19年度					
事業に要するコスト	区分	平成19年度決算額		平成20年度当初予算額		平成21年度当初予算額				
	事業費	(0千円) 137,251千円		(0千円) 137,254千円		(0千円) 136,500千円				
	人件費	26,742千円	従事人員 3.0人	25,413千円	従事人員 3.0人	25,080千円 従事人員 3.0人				
	総コスト (+)	163,993千円	従事人員 3.0人	162,667千円	従事人員 3.0人	161,580千円 従事人員 3.0人				
事業の目標	新ひょうごの森づくり」における「森林管理100%作戦」の円滑な推進を図る。			[目標設定理由] 協定を締結した森林において、地域活動を支援することにより森林の多面的機能を生かせる						
目標の達成度を示す指標	指標名	目 標		19年度実績	20年度見込み	21年度目標	達成率(%)			
		目標値	年度				H19	H20	H21	
	積算基礎森林面積	36,400ha	23	36,457ha (5千円)	36,477ha (5千円)	36,400ha (4千円)	100.2	100.2	100.0	
評価結果	必要性	・自然環境の保全、水源かん養、土砂災害の防止、地球温暖化の防止など、県民の求める森林の多面的機能が持続的に発揮されなければならない。そのため、森林所有者等が施業を適切に実施するために必要となる「施業実施区域の明確化作業」等の地域活動を支援する。								
	有効性	・地域活動を支援することにより、自然環境の保全や水源かん養など森林の多面的機能が持続的に発揮される。								
	効率性	・森林所有者等による施業の実施に必要な「施業実施区域の明確化作業」等の地域活動を支援することにより、適時適切な森林施業が促進される。								
	民間・市町との役割分担	・市町が協定を締結した森林所有者等への指導を行い、県は制度の適正執行や他施策との連携等について、市町に対し指導することとしており、県、市町との役割分担を図っている。								
	受益と負担の適正化	・交付金の交付にあたっては、国、県、市町がそれぞれ、1/2、1/4、1/4を負担することとしている。								
実施方針	方向性	新規 廃止	拡充 縮小	継続 統合	凍結(休止)	実施手法の見直し 延長 終期設定				
	実施手法の見直し内容	市町移譲	民間移譲	民間委託	PFI	負担割合変更	事務改善	その他		
説明	国が定めた平成19年度からの5カ年事業であり、国の実施要領等に則った実施方法や負担割合で、引き続き事業を実施する。									

人件費のうち、人数欄には当該事業の従事職員数を小数点以下第2位で四捨五入し記入すること。

また、人件費欄は、年度ごとに次の額を職員数に掛けて算定すること。

(19年度:8,914千円、20年度:8,471千円、21年度:8,360千円)

評価指標欄の実績値は、事業実施期間の設定状況等に応じて、適切な事業期間の推移を記入すること。

評価指標欄の()書きは、1単位あたりコストを記入すること。(算定式:1単位あたりコスト=事業費÷指標値)

評価指標欄の達成度は、H20見込÷最終目標値をパーセント表示のうえ、小数点以下第1位で四捨五入し記入すること。